

はなの輪

広島市植物公園植物友の会

2024年1月-3月 通巻第178号



園長のおすすめ 2023年3月2日号より

ベニバナアセビ *Pieris japonica f. rosea* Makino.

アセビ（馬酔木）は、この葉を食べた動物・馬がよっぱらったようにふらふらとしたことに由来します。アセトポキシンという有毒物質が樹全体に含まれるためだとか。昔はこの成分を害虫駆除に使っていたそうです。

ツツジ科アセビ属に分類される常緑の低木（1～4 m）で日本に広く分布します。開花期は2～4月で可愛いドウダンツツジのような花が咲きます。自生種の花は白が基本ですが、赤花の品種もあります。

（園内位置：ロックガーデン）

〔写真・文 永井 親雄〕

園長のおすすめ

植物公園ブログでは、園長のおすすめを定期連載中です。

見ごろの植物や最新のイベント情報も掲載しています。



<https://blog.hiroshima-bot.jp>

「生きた宝石」リトープス

「リトープス」という植物をご存じでしょうか？知らずに見れば植物とは思わず、綺麗な石だと思ってしまいかもしれません。今回は、そんな石と勘違いされてしまうリトープスという植物についてご紹介します。

リトープスはハマミズナ科の植物で、自生地は南アフリカやナミビアといった岩石砂漠地帯です。砂漠だからといって年中暑いわけではなく、寒い時期には霜が降りるほどの低温となります。「岩石砂漠」とは、地表が砂や礫に覆われずに、岩盤が露出している砂漠のことで、リトープスはその中で擬態して生きています（写真1）。リトープスの語源はギリシャ語で「石に似た」という意味なのでまさにその通りですね。和名ではイシコロギク（石塊菊）という名前が付いています。



写真1 自生地での様子（リトープスの1種）

最近では、園芸店で見かけることも増え、カラフルでかわいらしい姿と花に惹かれる人も多いようです。花の時期は10～1月で、株を覆うほどの大きな花を咲かせます（写真2）。グレー系、赤系、黄色系、茶色系など色や模様、形が豊富なのも魅力です。（写真3）

また、3～5月ごろに、外側の葉が割れて新しい葉が出てくる姿は「脱皮」と呼ばれ、見応えがあります。

ただ、リトープスはほかの多肉植物に比べて暑さに弱いのが難点で、高温多湿な日本での夏越しが難しいです。私も初めてのリトープスは3週間ほどで枯らしてしまいました…。育てる際は、蒸れない環境を作るようにし、特に休眠期の夏には水のやりすぎに注意してください。上手に育てれば、春先には脱皮する姿が見られますよ。



写真2 開花株（リトープス‘紅福来玉’）



写真3 カラフルなりトープス

2024年1月～3月 展示会・イベント案内

2/10 (土)
～ 2/14 (水)

バレンタイン フェスティバル

バレンタインデーに因んで、「99本のバラの花束」
との記念撮影（10・11日）や切り花プレゼント
（10日～12日午前9時～、各日先着100人）のほか、
チョコ作り体験やチョコ販売などを企画しています。

2/17 (土)
～ 2/25 (日)

春の特別ラン展

今年のテーマは「ランで祝う新サッカースタジア
ム」、大温室をランで華やかに飾ります。サンフ
レッチェ広島とのコラボ企画も🏆。会期中は、愛好
団体による洋ラン販売と栽培相談も実施します。

3/30 (土), 31 (日)
4/6 (土)

春の夜間開園 (さくらまつり)

20時まで開園し、ライトアップやコンサートで
夜桜を演出します。3/23 (土)～4/14 (日) の
まつり期間には日中に桜観賞会などを行います。

展示会のご案内

新春小品盆栽展	共催：広島小品盆栽会	1/ 6～1/ 8	展示資料館
冬の鉢花展		1/ 6～2/ 4	展示温室
植物写真コンテスト作品展		1/13～2/12	展示資料館
広島市植物公園写生大会入賞作品展	協力：佐伯区地域起こし推進課	1/20～2/ 8	展示資料館 ロビー
おもと名品展	共催：日本おもと協会広島県支部	2/ 7～2/13	展示温室
フラワーデザイン展	共催：日本フラワーデザイナー協会広島県支部	2/17～2/23	展示資料館
「草木染の世界」展	共催：広島草木染の会	3/ 2～4/ 4	展示資料館
ゼラニウム展		3/ 2～4/14	展示温室



Event Information 2024 1-3

植物公園で開催されるイベントを紹介します

1月

小品盆栽実演会（先着100名）
1月7日（日）午後1時半～2時半

野鳥観察のすすめ（先着100名）
1月8日（月・祝）午前10時半～12時

2月

おもと実演会（先着20名）
2月11日（日）午後1時半～2時半

絵本「ひと粒のチョコレートに」の朗読と
チョコレートづくりの体験（先着100名）
2月11日（日）午後1時半～3時

明治食育セミナー「発見！チョコレートのひみつ」（先着100名）
2月12日（月・祝）午後1時半～2時半

フラワーデザイン実演会（先着各回50名）
2月18日（日）
午前11時～正午、午後1時半～2時半

洋ラン実演会（先着20名）
2月18日（日）、23日（金・祝）、
24日（土）、25日（日）
午後1時半～2時半

3月

洋ラン栽培講習会（先着100名）
3月9日（土）午後1時半～2時半

しいたけ栽培講習会・菌打ち体験会
（ホダ木が無くなり次第終了）
3月20日（水・祝）午前10時～午後3時

「草木染の世界」展ギャラリートーク
（先着20名）
3月24日（日）午前11時～

- * 2月3日（土）午後2時～、5-Days子ども文化科学館アポロホール（250人収容）にて研究活動発表会を実施します
- * 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内しています
- * 1/6, 1/23, 2/3, 2/27, 3/2, 3/26 各日午前11時～は、園内で職員による植物うんちく語りを実施しています

◇募集◇ ※往復ハガキに催し名・住所・氏名・電話番号（・希望回）を記入してお申込みください。
植物公園のホームページ（Web申込のQRコード）からもお申込みいただけます

催し名・日程	内容等	定員	締切	Web申込
ショコラミルによるチョコ製造体験 2月10日（土）11:00～正午、13:30～14:30	チョコレート作り専用石臼「ショコラミル」によるチョコレート作りを体験します。	各回10組 （抽選）	1月24日 【必着】	
子ども織物教室 3月24日（日）13:00～14:00、15:00～16:00	小さな織機を使って、オリジナルの織物マットを作成します。 対象：小学生とその保護者 材料費：500円	各回10組 （抽選）	3月6日 【必着】	



小品盆栽実演会



ショコラミルによる
チョコ製造体験



植物うんちく語り
年間スケジュール

* イベントの内容は、一部変更になる場合があります。最新情報はホームページ・電話等でご確認ください。

冬の風物詩 Winter traditions in Botanical Garden



シモバシラ（花の進化園）



黒松の雪吊り（日本庭園）



雪吊りと紅白の梅（日本庭園）

厳寒期には、この時期にしか見られない季節の風物詩があります。シモバシラはシソ科の多年草で、根から吸い上げた水が枯れた茎の間から滲み出て、表面で凍ることで氷の花のようになります。すぐ溶けるので、12～1月の真冬日の開園直後にのみ観察できます。雪吊りもおすすりめです。

ゼラニウム展 Geranium exhibition



ゼラニウム展 展示風景

香りを楽しむセンテッド
ゼラニウム（ニオイゼラニウム）

変わり葉ゼラニウム 千代田錦



チューリップ咲きゼラニウム

野生種 ペラルゴニウム・
ポンドウリフォルメ野生種 ペラルゴニウム・
アペンディクラツム

ゼラニウム展（3/2～4/14）では、野生種も含め300鉢以上のゼラニウムのなかまを展示し、国内随一の規模を誇ります。また、（公社）日本植物園協会のナショナルコレクションに認定された「変わり葉ゼラニウム」も目玉展示の一つです。美しい展示をぜひご覧下さい。

1月～3月に見ごろを迎える植物



1月～2月

アイスチューリップ
(カスケード)



3月下旬頃

サクラ 春月花
(ログガーデン)



2月下旬～3月

クリスマスローズ
(ベゴニア温室前ほか)



3月～4月

ヒヤシンス
(花の進化園)



1月～5月

ウコンラッパバナ
(大温室)



2月～3月

マンゴー
(大温室)



1月～2月上旬

カランコエ 雷鳥
(サボテン温室)



2月頃

アロエ 慈光錦
(サボテン温室)



3月上旬頃

ラケナリア・ヨウンギイ
(サボテン温室)



2月下旬～
3月上旬

セツブンソウ
(ロックガーデン)



3月下旬～
4月中旬

オキナグサ
(里山の野草園)



3月頃

ゲンカイツツジ
(芝生広場奥ほか)

気象庁の3ヶ月予報によると、広島は暖冬傾向となるようです。ソメイヨシノの開花も早まり、昨年のように、3月末には満開になるかもしれません（広島の平年日は4月3日）。耐寒性の弱い植物の冬越しにはプラスになりますが、四季の変化はこれまで通りであってほしいものです。[写真・文：久保晴盛]

Plant Doctor Q&A

植物公園では、緑の相談窓口を設置しています。
家庭園芸のお困りごと、何でもご相談ください。
[☎082-922-3600 金曜を除く午後1時～4時]

Q. 先日、リトープスを知人からもらいました。特徴と冬の管理について教えてください。

A. リトープスは主にアフリカ南部を原産とするハマミズナ科の多肉植物です。植物体の色が茶色やグレーであれば地面や岩の色と区別がつかず、一見石にしか見えません。しかしながら、色や模様が多種多様でとても美しい植物です。「生きた宝石」と呼ばれる所以です。石に擬態することで、動物からの食害を防いでいると言われています。

多肉植物は生育する季節によって、春・秋型、夏型、冬型の3つのタイプに分けることができます。リトープスはそのうち冬型に分類されます。冬が好適な生育環境の一方で、夏の高温期は苦手で、休眠することで夏を乗り越えます。

冬の管理ですが、低温を好むと言いながらも、リトープスの生育適温は8～20℃なので、室内での管理をお勧めします。日当たりを好むので、できればカーテンを開け、ガラス越しの直射光にしっかり当ててください。水やりは天気の良い暖かい日の午前中に与えます。頻度は室温、天候により月2～4回が目安です。苦手な夏を状態よく乗り切ると秋～冬にかけて、体のサイズに似合わない大きな花を咲かせます（あの花この花「生きた宝石リトープス」写真2参照）。

[文 高井 敦雄]

Q. トマトの根にコブができました。なぜですか？

A. ネコブセンチュウによる被害の可能性があります。マメ科以外の植物の根にコブができた場合、病気や虫害の可能性があります。

マメ科植物の根には根粒というコブ状組織ができるのですが、マメ科以外の植物のほとんどは根粒を持たないため、根にコブができた状態は何か異常があると考えられます。根にコブができると、植物は水分や養分を上手く吸収することができず、生育が悪くなり葉がしおれ、酷いときには枯れてしまいます。そのため、これらの病害虫を防ぐための対策が必要となります。それでは、上で挙げた異常とは何かというと、主に「根こぶ病」「ネコブセンチュウの寄生」の2つが考えられます。

根こぶ病は、土から伝染する糸状菌（カビ）の一種が引き起こす病気で、アブラナ科植物のみが感染します。ネコブセンチュウは、線虫の一種で、植物に寄生して生きています。この線虫は、非常に小さくて肉眼では見えませんが顕微鏡で見るとミミズのような細長い姿をしており、寄生された部分にはコブができます。

今回の場合は、ナス科のトマトの根にコブが出来たということなので、マメ科につく根粒とアブラナ科のみに感染する根こぶ病は当てはまりません。そのため、ネコブセンチュウが原因の可能性が高いと考えられます。ネコブセンチュウはトマトだけでなく、サツマイモやカボチャなど多くの植物に被害を及ぼすため、被害が確認された場合は、殺線虫剤等を用いて土の中の線虫を減らしてから次の植物を植えるようにしましょう。なお、線虫に寄生された野菜等を食べたとしても、人間に害はありません。

[文 中川 悠]

Q. 夏から秋に育てたジニアは時間がたつと花色が変化して、一株でカラフルな花色を楽しむことができました。他にもこのような植物がありますか？

A. 様々な園芸植物で、花色の変化を楽しむ品種が作られています。このような品種は、大きく育てることで一株で寄せ植えをしたかのような楽しみ方をすることができます。ジニア以外にもマーガレットやビオラでこのような品種が流通していて、人気を集めています。



写真 咲き始めは白く、満開になると青紫色になるビオラ

[写真・文 井上 尚子]



アサギマダラの飛来

今年もアサギマダラが植物公園に飛来しました。10月2日（月）の午後、ハギ園周辺で今季初の飛来を確認しました。

例年は、アサギマダラの飛来頭数が10月中旬にピークを迎え、多い年では1日で100を超える個体を観察することができます。しかし、今年は10月中旬になっても二桁を越えるような多くの個体を観察することができませんでした。アサギマダラの飛来頭数には年次変動があることが知られていますが、今年は飛来頭数が少ない年だと考えられます。その一方で、例年と比べ、11月中旬の遅い時期まで継続的にアサギマダラを観察することができました。

この要因としては、10月と11月の平均気温が例年より高かったため、それが影響を与えた可能性が考えられます。今年度は、アサギマダラが吸蜜する植物のフジバカマの仲間を、休憩展望塔近くの「ハギ園とその周辺」にまとめて植栽・展示しました。来年はもっと多くのアサギマダラが観察できるといいですね。



写真 アサギマダラ 令和5年10月3日午前撮影

令和5年アサギマダラ飛来状況（広島市植物公園ハギ園周辺）

日付	天気	頭数	日付	天気	頭数	日付	天気	頭数
10/2	晴	1頭	10/15	曇	3～6頭	10/28	晴	0～3頭
10/3	曇	4～5頭	10/16	晴	0～2頭	10/29	晴	5頭
10/4	曇	5～7頭	10/17	晴	1頭	10/30	晴	5頭
10/5	晴	3～4頭	10/18	晴	3～4頭	10/31	晴	2～3頭
10/7	曇	3～5頭	10/19	晴	1頭	11/1	晴	5頭
10/8	曇	2～5頭	10/21	晴	0～5頭	11/2	晴	2頭
10/9	曇	5頭	10/22	晴	2～6頭	11/4	晴	1頭
10/10	小雨	2頭	10/23	晴	2～3頭	11/5	晴	2頭
10/11	晴	2～6頭	10/24	晴	2～3頭	11/6	曇	1頭
10/12	晴	3～7頭	10/25	晴	2～3頭	11/11	曇	4頭
10/14	曇	2～5頭	10/26	晴	0～2頭			

[文 大下 正勝]



広島市佐伯区倉重三丁目495

☎ 082-922-3600 ㊚ FAX 082-923-6100

- 開園時間 午前9時～午後4時半（入園は4時まで）
- 休園日 毎週金曜日
- 入園料 大人510円、高校生および65歳以上170円、中学生以下無料
- 駐車料 軽・普通自動車450円、中・大型車1,400円

